

## 全国瞬時警報システム（Jアラート）情報受信時の対応

平成 29 年 11 月 15 日  
北海道大樹高等学校

### 1 登校前の場合

「屋内避難の呼びかけ」があった場合は登校を見合わせ、続報を待つ。登校時の安全が確保されない限り自宅から出ない。

### 2 登下校の途中の場合

- (1) 近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難する。
- (2) 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。
- (3) 公共交通機関を利用している場合は、乗務員等の指示に基づいた行動を取る。  
※十勝バスはできる限り安全が確保できる場所で停止することになっている。

### 3 学校等で活動している場合

- (1) 職員室から校内放送で、Jアラート受信内容に基づく警戒及び対応を指示する。
- (2) 教室、特別教室で授業中の場合は、ドアや窓を全て閉めて、窓のカーテンを閉める。
- (3) 爆風等による窓ガラスの飛散から身の安全を守るため、廊下に避難し頭を守って伏せる。
- (4) 体育館で授業中の場合は、体育館の中央に集まり頭を守って伏せる。
- (5) グラウンドで授業中の場合で校舎内に入る余裕のないときは、校舎の物陰に身を隠し頭部を守る。
- (6) 本部を校長室におき、校内の状況を把握し、生徒の安全を確認して指示を出す。
- (7) 警戒態勢の解除後、安全を確認し本部からの指示により授業を再開する。

### 4 定期考査・模試・検定中の場合

- (1) 職員室から校内放送（休日の場合は試験監督が指示）で、Jアラート受信内容に基づく警戒及び対応を指示する。
- (2) 試験は一時中断する。（中断時刻は試験監督が記録）
- (3) 生徒は問題用紙・解答用紙を机の中に入れる。
- (4) 教室のドアや窓を全て閉めて、窓のカーテンを閉める。
- (5) 爆風等による窓ガラスの飛散から身の安全を守るため、廊下に避難し頭を守って伏せる。
- (6) 本部を校長室におき、校内の状況を把握し、生徒の安全を確認して指示を出す（休日の場合は試験監督が指示）。
- (7) 警戒態勢の解除後、安全を確認し本部からの指示（休日の場合は試験監督が指示）により試験を再開する。

### 5 下校直前の時間帯の場合

生徒の下校（帰宅）を一時中断し、校舎内に待機する。

### 6 その他

日頃から登下校時の緊急対応として、次の事項を指導しておく。

- (1) 徒歩等で登下校する生徒は、各自が近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難するなどの行動を取る。
- (2) 公共交通機関を利用している生徒は、乗務員等の指示に基づく行動を取る。